

コミュニケーションと業務を改革

SharePoint で社内ポータル情報一元化・社内の 信頼感醸成 業務効率は10%向上



INDEX

はじめに	02
SharePoint でIT投資の効果を最大化	
1 導入の背景	04
課題：情報周知の徹底・コミュニケーションの活性化	05
2 SharePoint が選ばれた理由	08
メリット1：ポータルサイトを作成できる	10
メリット2：クラウド上でデータの保存/共有	11
メリット3：Office 製品との連携で使いやすい	12
3 導入の効果	13
効果1：情報周知が徹底され社内交流も活性化	14
効果2：システムにより業務効率が向上	15
効果ビフォーアフター	16
おわりに	17
SharePoint で業務改革システムを構築	
サービスメニュー	18
企業情報	20

1. 導入の背景

課題：コミュニケーションの障壁解消と業務効率化

地域と暮らす人に寄り添い、多様な店舗展開を図る、従業員数約1万人の小売業A社様。

店舗増と顧客サービスの充実と並行して、多くの営業所を抱える同社では**全社周知が滞ることも多くなり、特に本部と営業所間での心理的な距離も生まれていることが課題**でした。

これを解消し、さらなる顧客サービスの充実につなげるため、**コミュニケーション環境を改善する情報システムの刷新と同時に、業務プロセスの変革も進め、IT投資の最大化**を目指しました。



企業 プロフィール

【業種】小売業

【企業規模】約1万人

【企業概要】

多様な顧客ニーズに応える様々な業態サービスを約9,000店展開

3. 導入の効果

効果1：情報が周知徹底されイノベーションを促進

- ポータルサイトに、トップメッセージや全社情報を一元化したことで、本部や営業所間の情報格差が解消
- 情報格差がなくなったことで、従業員のモチベーションアップにつながった。さらに従業員一人一人のイノベティブな創造を促し、新たな商品やサービスのアイデアが多く生まれた
- 自由にコミュニティをポータルに開設できるため、数十のコミュニティで従業員同士のコミュニケーションが活発化している

